

総合戦略評価シート

【基本目標 1】稼ぐ地域をつくるとともに、安心して安全に働けるようにする

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討 委員会 評 価	備考		
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値				
1	みなべの梅消費 費拡大施策	みなべの梅消費拡大をめざすことを前提に、梅・梅干しの海外進出、外食産業への売り込み、世界農業遺産認定による、梅のブランド力向上と新商品の開発を行います。 また、新たな販路を開拓するために、国内だけでなくとどまらず、インターナショナルブランドのさらなる確立と海外への販路を今まで以上に拡大します。	梅の機能性研究・機能性表示活用補助金事業	19,900	19,260	15,000	15,000	機能性研究・PRについては、うめの効能や研究成果を逐次メディアに発信することで、消費者の「梅干＝塩分が高い」という概念の払拭に努めている。 特に、令和5年3月に3つめの特許（コラゲナーゼ阻害剤）を取得したことで、健康や美容面で女性や若者、海外の人にアピールしていきたい。 世界農業遺産認定による、海外への梅の発信、人材育成、事業への住民の参画、住民の自主的な活動の支援を推進することで、住民参画、また自主的な活動が活発化している。 うめ食育推進など、地域全体で梅文化の発信、また次世代を担う子どもたちへの出前授業の取組も引き続き実施していく。	うめ課	B	①製造品出荷額	307億円 (H28)	349億円 (R1)	339億円 (R2)	327億円 (R4) 【308億円】 【(R3)】	341億円 (R5)	20%増	B			
			海外向けに梅文化（梅＝健康）の発信・販路開拓事業	0	0	553	367		うめ課	B											
			ホテル食の梅推進事業	150	92	121	119		うめ課	E	②農業所得額	31.2億円 (H30)	40.3億 (R3)	23.9億円 (R4)	12.8億円 (R5)	16.0億円 (R6)	20%増	C			
			世界農業遺産認定事業	1,335	2,466	3,186	2,896		うめ課	B											
			うめ食育推進事業	1,336	1,403	1,186	1,176		うめ課	B											
2	商工業、商店街支援施策	商工業者・商店街への支援強化として、後継者育成支援を行います。また、空き店舗や空き地などを利用した起業を促すために、創業支援等に取り組みます。	商工会補助事業	32,324	16,000	45,250	16,452	商工業活性化のための補助や、商工会青年部等が企画する事業の支援・協力、新規創業者への支援を実施継続。 また、R5年度には、商工会館移転に伴う改修工事の補助金も支出した。	産業課	B	①製造品出荷額	307億円 (H28)	349億円 (R1)	339億円 (R2)	327億円 (R4) 【308億円】 【(R3)】	341億円 (R5)	20%増	B			
			起業支援事業	0	0	0	0		産業課	C											
											②新規事業者数	1件 (H30)	0件 (R3)	1件 (R4)	1件(累計) (R5)	5件(累計) (R6)	5年間で 5件	A			
3	農業振興施策	若年、女性、定年者への就農支援や次期後継者世代への魅力発信を行い、担い手確保を進めます。また、農業従事者等の労働力確保のために、多様な人材の活用も検討します。 さらに、生産対策の強化への取組を支援し、農業経営の安定を図るとともに、耕作放棄地対策や農道・用排水路を整備し、農業生産基盤の維持に努めます。	女性の感性を活かした6次産業の推進事業	0	0	0	0	就農支援事業では、Iターンなどの新規就農者に対し、経営の確立を図るために、年最大150万円を支援。(延べ12名) 鳥獣害対策支援事業では、防護柵の整備への補助及び有害の捕獲を行った。(H29年度2,023頭、H30年度1,447頭、R1年度1,579頭、R2年度1,555頭、R3年度1,427頭、R4年度1,215頭、R5年度1,215頭、R6年度1,733頭) 営農支援として、パイプハウスの新設等の補助により、野菜花きの維持・振興を図った。	うめ課・産業課	E	④農業産出額	108.3億円 (H29)	114.7億円 (R2)	130.9億円 (R3)	101.3億円 (R4)	80.4億円 (R5)	120億円	D			
			就農支援事業（農業人材力強化総合支援）	1,372	3,143	3,178	2,533		産業課	B										⑤新規就農者数	6人 (H30)
			農地中間管理事業	543	265	362	274		産業課	B	⑥鳥獣による農作物被害	3,282千円 (H30)	4,753千円 (R3)	3,216千円 (R4)	3,214千円 (R5)	2,386千円 (R6)	2,625千円	A			
			営農支援事業	6,882	6,642	5,936	5,726		産業課	B											
			農道・用排水路整備事業	10,000	10,000	11,405	9,228		産業課	C											
			鳥獣害対策支援事業	26,180	21,980	20,304	25,598		産業課	C											

総合戦略評価シート

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討委員会	備考
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値	評 価	
4	林業振興施策	みなべ町の重要資産である、山の資源を有効活用し、資源の流通及び販売の拡大をめざします。また、後継者の育成を図るとともに製炭窯の修理や作業道の整備に対する補助、原材料を確保するための森林管理により備長炭生産安定のための対策を推進します。 一方で、森林環境譲与税を活用しつつ、森林経営管理法に基づき、手付かずの人工林の整備や経営管理等の新たな仕組みを構築し、運用することで、森林が有する多面的な機能を維持及び発揮させ、林業の成長産業化を推進します。	紀州備長炭生産施設整備事業	1,302	360	22,530	4,320	紀州備長炭の生産量の安定化と振興につなげるため、老朽化した町有研修窯の上屋改築工事を行い、担い手の確保に取り組んだ。 その他、森林環境譲与税を活用し、個人所有の人工林について、切り捨て間伐(R4年度40.90ha、R5年度28.98ha、R6年度25.95ha)や林道の整備などを行った。 また、紀州備長炭の情報発信の施設なる、「紀州備長炭振興館」について、大学生などの協力により、展示スペースのリニューアルを進めている。	産業課	C	①備長炭生産者数	29人 (H30)	28人 (R3)	26人 (R4)	26人 (R5)	25人 (R6)	(現状維持)	C	
5	漁業振興施策	資源管理型漁業推進の強化を行い、うめ産業との連携で流通・販売の拡大や産業観光の充実を図ります。また、ヒラメやクエなどの種苗を育成・放流、イセエビの放流を実施し、牡蠣などの畜養の研究などを進め、養殖を強化することにより、漁獲量の増加、漁家所得の向上と6次産業化をめざします。	中間育成放流事業	437	310	252	361	水産資源の増殖を図るため継続して中間育成事業、イセエビ放流事業に取り組んだが、長引く黒潮大蛇行や燃油価格の高止まりによる出漁機会の減少等により漁獲量は減少となった。 なお、燃油価格高騰対策として令和7年度から新たに事業を展開する予定である。 堺漁港に水揚げされる水産物をひろく周知するため学校給食に食材を提供、また「みなべの水産物PR作戦inこども園」と題したカアシガニふれあい体験会を実施した。	産業課	C	①漁獲量	1,596t (H29)	330t (R2)	243t (R3)	164t (R4)	132t (R5)	(現状維持)	D	
			イセエビ放流事業	2,500	2,500	2,500	2,500		産業課	C									

施策・事業内容の評価欄について

A：KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった

B：KPIの達成に向けて事業を推進し、相当程度の効果があった

C：KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分であった

D：KPIの達成に向けて次年度以降、事業を実施する予定である

E：KPIの達成に向けての事業推進が不順であった

外部検討委員会の評価欄について

A：KPIの達成に向けて施策等が推進され、十分な成果があった

B：KPIの達成に向けて施策等が推進され、相当程度の効果があった

C：KPIの達成に向けて施策等が推進されたが、成果が不十分であった

D：KPIの達成に向けて今後の施策等の推進に期待する

E：KPIの達成に向けての施策等の推進が不十分である

総合戦略評価シート

【基本目標 2】地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討委員会 評 価	備考	
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値			
1	移住・定住促進施策	安心して暮らせる住宅地の整備を促進し、空き家の情報を収集して有効利用を図るとともに、東京一極集中の是正のため、UIターンによる就業者を支援します。 また、木造住宅の新築、増築及び改築に当たり、紀州材を使用した住宅に対して補助することでの定住を促進します。	空き家の利用促進事業	0	0	0	0	町内にある空き家を「わかやま空き家バンク」へ登録、移住希望者へ紹介し、移住者とのマッチングに取り組んでおり、東京圏からの就業等の要件を満たす者には移住支援金（国1/2・県1/4・町1/4）を交付している（R6・1件）。 また、定住を促進するために、紀州材を使用した住宅に対して、その費用の一部を補助している（R5・10件、R6・10件）。 特に、令和4年度からは、若者の定住を促進するために、住宅取得に対し、最大100万円を助成している（R4・25件、R5・22件、R6・20件）。	政策推進課	B	①空き家登録件数	1件 （H30）	5件	6件	10件	6件	10件	B	R4.2改訂により、目標値を3件から10件へ増やした。	
			移住支援事業	0	0	0	600		政策推進課	C										
			紀州材で建てる住宅支援事業	2,800	3,819	1,957	1,918		政策推進課	C										
2	関係人口の創出拡大施策	移住に関心のある方を対象に、暮らしを体験するツアーやみなべ町の魅力や価値を発信することで、交流人口の拡大に加えて、関係人口の創出・拡大を図ります。 また、教育旅行では、みなべ町の自然や風土、文化を若者等に深く浸透させ、地域住民との関係性を築き、親しみを感じていただくことのできる事業を展開します。 さらに、県や周辺市町と連携し、南紀エリアへのスポーツ合宿誘致を進めます。	現地体験ツアー事業	0	0	0	0	教育旅行受入促進のため、H28年度から教育旅行の宿泊補助を始め、また宿泊施設とともに積極的にPRを行っている。コロナ禍で教育旅行は体験を主としたものに方針変更となり、教育旅行補助金申請数が増加した。 また、ほんまもん体験の発掘について、今あるものを活かし、お寺・神社での体験に関し、宮司等の協力を得て、商品化することができた。現在、県HPに掲載されている。 ふるさと大使2名にあつては、各地において発信いただいている。特に川島ケイジさんにおいては30年度「僕らが生まれた梅の町」という曲を作っていただき、うめ振興館やイベント等で活用している。	政策推進課	D	①教育旅行受入数	4,394人 （H30）	23,934人 （R3）	17,278人 （R4）	10,479人 （R5）	7,681人 （R6）	6,000人	A		
			教育旅行受入事業	13,280	10,247	9,266	10,867		うめ課	A	②外国人宿泊客数	34,866人 （H30）	3人 （R3）	2,233人 （R4）	19,698人 （R5）	7,543人 （R6）	40,000人	C		
			外国人観光客受入強化事業	571	486	2,298	770		うめ課	C	③年間観光客数	668,360人 （H30）	389,420人 （R3）	462,644人 （R4）	567,758人 （R5）	600,454人 （R6）	700,000人	C		
			総合観光イベント事業	593	576	885	625		うめ課	B	④年間宿泊客数	180,388人 （H30）	75,325人 （R3）	107,967人 （R4）	135,117人 （R5）	137,167人 （R6）	200,000人	C		
			観光案内所及びレンタサイクル設置事業	0	0	0	0		うめ課	E										
			ほんまもん体験発掘・推進事業	0	0	0	0		うめ課・産業課	E										
			みなべブランドPR事業	5	11	26	18		うめ課	B										
3	ふるさと納税拡大施策	ふるさと納税によって、地方への資金の流れにとどまらず、しごとが創られ、また、ひとの流れが創られることが期待されることから、みなべ町においては、町の特性を生かした返礼品の充実や開発などを行い、リピーターの確保に向けた取組をすることで、町を応援してもらえる寄附者の拡大を図ります。	ふるさと応援寄附金の返礼品拡充事業	0	0	0	0	ふるさと納税による財源確保を目的として、複数のポータルサイトを活用した返礼品の掲載を推進した。R6年度においても2件のポータルサイトを導入した。掲載ポータルサイトが増えたことで、寄附者との接点が増加し、みなべ町の特産品である梅商品のPRにつながり、多くの方から支持を得ている。	政策推進課	A	ふるさと応援寄附者数	2,794人 （H30）	13,868人 （R3）	14,323人 （R4）	15,879人 （R5）	22,422人 （R6）	4,000人	A		

施策・事業内容の評価欄について

- A：KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B：KPIの達成に向けて事業を推進し、相当程度の効果があった
- C：KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分であった
- D：KPIの達成に向けて次年度以降、事業を実施する予定である
- E：KPIの達成に向けての事業推進が不順であった

外部検討委員会の評価欄について

- A：KPIの達成に向けて施策等が推進され、十分な成果があった
- B：KPIの達成に向けて施策等が推進され、相当程度の効果があった
- C：KPIの達成に向けて施策等が推進されたが、成果が不十分であった
- D：KPIの達成に向けて今後の施策等の推進に期待する
- E：KPIの達成に向けての施策等の推進が不十分である

総合戦略評価シート

【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望をかなえる

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討 委員会 評 価	備考
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値		
1	結婚促進施策	未婚化・晩婚化・晩産化の流れ を変えるため、男女の出会いの 場を提供するなど、関係機関と 連携し、若者の結婚を支援しま す。 また、若者が「結婚」や「子育て」 に持つマイナスイメージを変えるた め、結婚や子育ての楽しさやうれ しさ等、婚活イベント等を通して 意識の啓発を図ります。	婚活イベント事業	460	390	400	400	異性に出会う機会が少ないことが、未 婚化、晩婚化の課題となっていることか ら、出会いの創出を図るため、出会い の場となるイベントなどを開催する団体 等に対し、補助している。 カップル成立者もあることから、今後も 民間団体による婚活イベントを支援す る。	政策推進課	C	①婚姻数	36件 (R1)	36件 (R3)	29件 (R4)	30件 (R5)	35件 (R6)	45件	C	
2	出産支援施策	若い世代に対して、家庭科学習 や乳幼児との保育体験、さらに、 乳幼児健診での中学生思春期 体験学習を通して、いのちの尊 さ、子育ての大切さ、楽しさに関 する教育を推進していきます。ま た、出産環境の充実を図り、不 妊治療費に対する助成や安 心して妊娠出産ができる体制を 確保するために、診査費の助成 を行うことで出生率の向上を図り ます。 特に、妊娠期から子育て期にわ たる切れ目のない支援を提供で きるよう、保健師や助産師による 相談支援活動を実施し、妊婦 等に寄り添い安心して産み育て る環境づくりやきめ細かい支援を 実施します。	不妊治療助成金事業	1,083	412	388	451	町内中学生を対象に、思春期体験 学習として赤ちゃん人形を用いたふれ あい体験や妊婦体験を行ない、子育 ての楽しさや、大変さ、自分の家族へ の感謝の気持ち等を出前授業を通し て伝えています。 平成28年度より、一般不妊治療費の 助成を、上限30,000円から50,000 円に上乘せして実施しています。今 後、生殖補助医療先進医療費の助 成拡大に向けて取り組んでいきます。 これらのことより、子どもを産み育てたい 夫婦の経済的負担を軽減でき、不妊 治療の開始や継続がしやすくなるよう 環境を整えています。 また、妊娠届 出時やマタニティー＆ベビーサロン等の 教室を実施したり助産師による妊婦 家庭訪問を実施したりして、安心して 出産・子育てができるよう顔を合わせて 関わる機会を増やしています。乳幼児 健診では、母親がゆったり相談できるよ うスタッフの充実を図っています。	子育て推進課	A	①不妊治療の助成件数	8件 (H30)	17件（一 般不妊治療 10件・特定 不妊治療7 件）(R3)	7件（一般 不妊治療費 4件・特定 不妊治療費 3件）(R4)	9件（全 て一般不妊治 療費） (R5)	10件（一 般不妊治療 費） (R6)	10件/年	A	
			妊婦健康診査費助成事業	4,774	3,664	4,183	3,890		子育て推進課	A									
			切れ目のない子育て支援事業	814	794	810	842		子育て推進課	A									

総合戦略評価シート

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討委員会	備考
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値	評 価	
3	子育て支援施策	子どもを安心して持つことができるよう、多子世帯の保育料の無料化や子ども医療費の助成など、子育て世帯への負担軽減を図るとともに、仕事と子育ての両立ができるように、一時預かり保育や病児保育、ファミリー・サポート・センター事業の充実を図り、学童保育所の受入児童数の拡大や放課後子ども教室推進事業の充実に取り組みます。 さらに、出産・育児に必要な情報を得るための教室や講演会などの開催、健康診査や診査後のフォローなど、疾病及び発育・発達上の問題の早期発見に努め、訪問指導や健康相談などを実施し、きめ細かな情報の提供と相談体制の充実を図ります。 また、高等教育の経済的負担を軽減するために奨学金を貸与するとともに、返還不要の奨学金制度も新たに始め、修学の道を開きます。	子育て支援センター事業	7,283	8,398	8,475	8,835	子育てでの支援については、地域子育て支援センターで、親子ふれあい開放保育や情報交換の場として育児講座、サークル支援を行っている。 認定こども園の設置については、町立の南部幼稚園、南部保育所、ひかり保育所と私立の愛之園保育所を統合した私立の「みなべ愛之園こども園」が令和４年４月に開園し、安全安心で充実した保育環境が整った。また、令和６年度に高城保育所がこども園に移行したことにより、町内の保育施設３園とも「こども園」となり、保育施設に通っていないお子さんを一時的に預かる、一時預かり保育事業を実施している。 働く保護者の支援事業として小学生を預かる放課後児童クラブについては、学校の空き教室及び専用施設にて運営し、希望児童すべてを受け入れている。 奨学金事業においては、制度の活用により経済的に苦しい世帯の負担軽減をはかり、町内の生徒・学生の修学を支援しています。	子育て推進課	A	①こひつじランドの参加組数	延べ2,873組 (H30)	延べ1,129組 (R3)	延べ1,258組 (R4)	延べ1,376組 (R5)	延べ1,514組 (R6)	延べ3,000組	C	
			こども園設置事業	828,928	0	0	0		子育て推進課	A									
			一時預かり保育事業	1,009	1,217	2,697	2,695		子育て推進課	A									
			放課後児童クラブ偉業（学童保育所）	40,835	39,416	37,439	52,445		子育て推進課	A									
			奨学金事業	1,800	1,440	960	960		教育学習課	B									

施策・事業内容の評価欄について

A：KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった

B：KPIの達成に向けて事業を推進し、相当程度の効果があった

C：KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分であった

D：KPIの達成に向けて次年度以降、事業を実施する予定である

E：KPIの達成に向けての事業推進が不順であった

外部検討委員会の評価欄について

A：KPIの達成に向けて施策等が推進され、十分な成果があった

B：KPIの達成に向けて施策等が推進され、相当程度の効果があった

C：KPIの達成に向けて施策等が推進されたが、成果が不十分であった

D：KPIの達成に向けて今後の施策等の推進に期待する

E：KPIの達成に向けての施策等の推進が不十分である

総合戦略評価シート

【基本目標 4】ひとが集う、安心して安全に暮らすことができる魅力的な地域をつくる																			
項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討 委員会 評 価	備考
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値		
1	地域資源を活用したまちづくり 施策	みなべ町の自然が織りなす豊富な資源を活用し、魅力的のある「まち」をつくり、町が誇る特色ある農林水産品、観光資源、文化などの地域資源を最大限に活用することで、町の活性化を図り、地域の魅力を高めます。 特に、うめ振興館や千里ウミガメ館、梅の里スポーツライミング施設など、特色のある施設を利活用し、海・山・川の自然の恵みとそれぞれの地域の特色を生かした観光関連イベントの充実を図ります。 また、「みなべ・田辺の梅システム」の魅力発信基地創設と体験交流飲食施設を設置し、新たな魅力づくりを発信します。梅へのさらなる付加価値を高めた特産品を開発し、外国人を意識した販売を強化するとともに、外国人観光客が安心して訪れることができるよう多言語の案内表示やパンフレットの提供に取り組みます。	梅干＝健康＝スポーツ推進事業	1,794	2,769	5,339	1,208	日体大との「スポーツ・健康に関する協定」に基づく、交流事業については、コロナ禍のため、実施することができていない。 ただ、スポーツ＝梅のPRイベントでは、日体大、東海大への梅製品の提供を行った。 うめ振興館の活用については、世界農業遺産の認定後、拠点施設として捉え、展示内容の変更・修正・多言語化を進めた。今後はうめ振興館を拠点とした観光プランの検討を進めていく。	うめ課・教育学習課	B	①イベント集客数	9,163人(H30)	1,915人(R3)	2,835人(R4)	3,956人(R5)	5,423人(R6)	11,000人	C	
			みなべの食PR（梅料理開発、UME-1グランプリ開催等）事業	1,917	5,544	6,187	6,187		うめ課	A	②年間観光客数	668,360人(H30)	389,420人(R3)	462,644人(R4)	567,758人(R5)	600,454人(R6)	700,000人	C	
			観光・特産品PR事業	274	2,906	3,443	4,211		うめ課	B	③うめ振興館年間入館数	59,955人(H30)	34,467人(R3)	60,387人(R4)	60,600人(R5)	66,568人(R6)	70,000人	C	
			うめ振興館活用検討事業	4,265	2,864	1,424	1,372		うめ課	B									
2	心とからだの健康づくり施策	町民の健康の維持増進を図ります。若い世代から中高年までの幅広い年代層の健康維持は、町の財政にも大きく寄与します。心とからだの健康を維持増進させるため、トレーニング教室・ストレッチ教室や健康相談・健康講座、特定健診や特定保健指導、各種がん検診を充実させることにより、成人期の健康づくりをサポートします。 また、町民の心とからだを健康に保つための様々なイベントを開催するとともに、有所見者のフォローアップの充実を図り、町民個々のライフスタイルにあった健康づくりを支援します。	心とからだの健康づくり事業	45,492	44,441	47,752	47,139	特定健診・がん検診の受診率は、令和2年度に新型コロナウイルスによる受診控えで低下したが、再勧奨等実施したことで、令和3年度は回復し、以降、維持できている。 (H28:46.5%、H29:46.2%、H30:48.5%、R1:50.9%、R2:42.0%、R3:50.6%、R4:50.9%、R5:51.5%) 各種教室を実施することで、町民の健康意識の向上に努めている。 検診有所見については、対面や郵送による受診勧奨を行う等、フォローアップに努めている。	健康長寿課	B	①各種健診要精密検査受診率	88.9% (H29)	77.5% (R2)	84.6% (R3)	77.4% (R4)	78.3% (R5)	90%	C	
3	高齢者生きがい創造施策	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けられるよう、高齢者の生きがいの創造を支援し、高齢者の生涯学習、社会参加、多世代交流、地域貢献活動の機会を増やし、働ける高齢者の雇用の促進を行います。 また、高齢者が運営するサロンを展開し、憩いの場を増やして、活気あふれる集いの場を実現します。	高齢者サロン事業	230	230	250	590	長寿クラブの集まりで百歳体操の啓発などをしたことで「住民主体の通い場」もでき、自主運営で週1回集まり運動や交流している。 また住民の声をきっかけにいきいき百歳体操だけでなく、健康マージャンや前期高齢者向けの運動機器を使ったトレーニングを中心とした通いの場を作ること で、新規の参加者も増え、早い時期から介護予防に取り組める機会を設けることが出来た。 また通いの場が増えることで、社会参加の場が増え、地域の中で参加同士の見守り体制が充実してきている。	健康長寿課	B	①長寿クラブエリアごとの設置数	11箇所 (H30)	15箇所	14箇所	19箇所	20箇所	15箇所	A	

総合戦略評価シート

項番	施策・事業内容										重要業績評価指標（KPI）							外部検討委員会 評 価	備考
	施策名称	方針	事業名	R3事業 実績額(千円)	R4事業 実績額(千円)	R5事業 実績額(千円)	R6事業 実績額(千円)	取組内容と成果	担当課	評価	指標	基準値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	実績値	目標値		
4	防犯対策施策	明るく安心・安全なまちづくりを行い、町民をはじめ、みなべ町を訪れる方が安心して安全に過ごせるように防犯カメラの設置を行います。 また、自治会所有の防犯灯のLED化に対し助成を行います。	防犯カメラ設置事業	1,649	1,667	1,709	1,691	防犯カメラについては、継続的に設置を進めており、令和6年度では、1箇所に設置した。なお、総数は、これで33台となった。 また、LEDの防犯灯については、自治会の要望に対し、積極的に補助している。 今後も、犯罪抑止と夜間の街頭犯罪の削減のために、防犯カメラと防犯灯の設置を進める。	総務課	A	①街頭犯罪件数	17件 (H30)	8件 (R3)	10件 (R4)	13件 (R5)	15件 (R6)	50%削減	D	
			防犯灯LED設置助成事業	721	753	490	252	総務課	B										
5	町内情報取得の便利化施策	情報通信基盤の整備を推進し、超高速・超低遅延・多数同時接続等の通信が可能となる5G（第5世代移動通信システム）など、新たな通信技術・サービスの動向を的確に捉え、活用を検討します。	情報通信基盤整備・利活用推進事業	0	0	0	0	これまで、町内における携帯電話の不感地区について、国や通信事業者へ基地局設置を要望していたところ、通信事業者の自社進出の形で基地局が設置された。	総務課	A	①携帯電話不感世帯数	5世帯 (H30)	7世帯 (R3)	0世帯 (R4)	0世帯 (R5)	0世帯 (R6)	0世帯	A	
6	防災対策支援施策	日頃から円滑な津波退避のための訓練を継続するとともに、住宅の耐震化等をより一層進め、町民の安全を確保し、災害時に迅速に対応する体制づくりと地域特性を生かした地域間連携の確立を図ります。また、災害時における要支援者の把握を強化し、社会福祉施設等との協定を進めるとともに、避難場所の収容可能人数を増やすために備蓄品などの整備を進めます。 さらに、防災施策の一環として、防災広場等を地域の拠点として、広範囲に関連する道路整備を行い、避難行動の円滑化を図るとともに、避難所機能の充実や防災行政無線等情報伝達設備の多機能化など防災体制の強化を行います。	避難行動要支援者名簿等登録事業	40	14	21	26	要支援者名簿等への登録については、毎月の月次処理として、新規対象者に対し登録同意書を送付し、対象者の把握と登録を行っている。また対象者に対し個別に聞き取りを行い、個人毎の状況の把握を順次進めている。 災害時における地域安心確保等のための協定については、令和3年度に、みなべ愛之園こども園と、津波発生時の一時避難所とし、併せて福祉避難所としての施設利用に関する協定を締結した。また、令和6年度には、(有)下村重機と、事務所を災害発生時の一時避難施設として協定を締結した その他、自主防災組織の育成にも取り組んでおり、避難所運営リーダー育成講座を開催するなど、ハード・ソフトの両面から対策を講じている。 また、南道地区の防災拠点内に、新たに防災備蓄倉庫を令和5年度に建設し、防災資機材や備蓄食料の整備を進めている。	住民福祉課	B	①避難行動要支援者登録人数	730人 (H30)	771人 (R3)	673人 (R4)	708人 (R5)	705人 (R6)	800人	B	
			災害時地域安心確保等協定事業	0	0	0	0		住民福祉課・総務課	C	②避難収容可能数	11,710人 (H30)	11,900人 (R3)	11,900人 (R4)	11,900人 (R5)	11,900人 (R6)	12,000人	B	
			津波避難訓練事業	0	0	0	0		総務課	C									
			津波避難誘導標識設置事業	2,022	897	479	2,703		総務課	B									
			住宅耐震事業	8,930	10,096	4,195	8,254		総務課	C									
			地域自主防災組織への支援事業	23	154	521	646		総務課	B									
			防災拠点機能の充実事業	851	154,067	157,797	30,788		総務課	A									
			情報伝達設備多機能化事業	0	4,356	0	0		総務課	C									

施策・事業内容の評価欄について

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、相当程度の効果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分であった
- D: KPIの達成に向けて次年度以降、事業を実施する予定である
- E: KPIの達成に向けての事業推進が不順であった

外部検討委員会の評価欄について

- A: KPIの達成に向けて施策等が推進され、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて施策等が推進され、相当程度の効果があった
- C: KPIの達成に向けて施策等が推進されたが、成果が不十分であった
- D: KPIの達成に向けて今後の施策等の推進に期待する
- E: KPIの達成に向けての施策等の推進が不十分である